

# 広島県の若者が大都市に流出する要因分析

松原 淳一

## Analysis of Factors Attracting Young People to Metropolises

Junichi Matsubara

### 1. はじめに

東京一極集中に歯止めをかけ、地方振興を図ることが我が国の政策課題となって久しいが、現実には、東京圏への人口集中の勢いは衰えず、多くの地方都市では、10代後半から20代の若者を中心に人口の流出が続いている。広島県は、中四国地方最大の工業県・商業県・大学数を誇り、有効求人倍率は全国トップクラスであるが、それでも転入を上回る転出が続いている。

本稿は、広島県の若者が東京・大阪などの大都市に流出する要因分析を目的としている。これまで地方の若者が大都市へ流出するのはなぜか、その対策はいかにあるべきか、いくつかの分析と対策が試みられてきた。もっとも、一言で地方と言っても、地域により、その置かれている状況には大きな違いがある。東北地方のように農業のウエイトが高い地域もあれば、東海地方のように工業が発展している地域もあるため、その要因も対策も異なってくる。一般論ではなく、広島県の流出対策に資するような分析を目指したいと考えた。

そこで、広島県の若者は何に惹かれて東京・大阪などの大都市に転出しているのか、広島県には何が不足しているのか、広島県に所在する本学的女子大生へのアンケート調査（質問紙調査）により、具体的に明らかにすることを試みた。

### 2. 経済統計からみた広島県の人口動態の特徴

広島県の将来目標を示した「ひろしま未来チャレンジビジョン（改訂版）」の人口ビジョン<sup>1)</sup>によれば、広島県の人口の社会動態（転出・転入）は、大学卒業・就職時における大都市への転出から転出超過となっており、その傾向は男性より女性に強くみられると分析されている。ただし、本ビジョン改訂版（2015年）から5年

が経過していることから、その後の状況変化を最初に確認しておく。

図表1に示すように、広島県の転入から転出を引いた転出超過数（日本人）は2015年の2,856人から2019年の5,318人に拡大している。男女別では女性の転出超過数が引き続き大きい。

全国では2019年、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、滋賀県、福岡県、沖縄県の8都府県で転入超過となっているが、広島県を含めたその他の道府県は転出超過となっている。広島県の有効求人倍率は、2019年4月には2.14倍（原計数）と都道府県別で最高を記録するなど、全国有数の人手不足にもかかわらず、転出超過人数はむしろ増えている。

図表1. 広島県の転出超過人数（日本人）

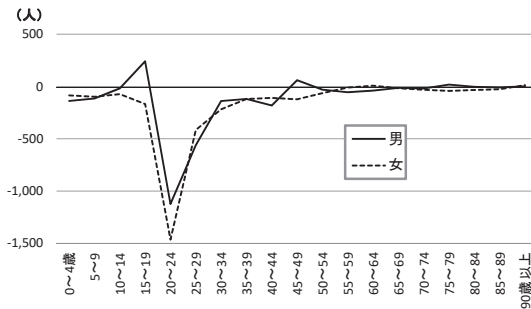
マイナスは転出超，単位：人

	合計	男	女
2015年	▲ 2,856	▲ 932	▲ 1,924
2016年	▲ 2,136	▲ 160	▲ 1,976
2017年	▲ 3,176	▲ 1,495	▲ 1,681
2018年	▲ 3,537	▲ 1,324	▲ 2,213
2019年	▲ 5,318	▲ 2,248	▲ 3,070

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」から作成

男女別年代別では、図表2のグラフに示すように、20代前半が大幅な転出超過となっている。20代前半は大学の卒業時期である。男女別では男性よりも女性の転出超過が大きい。

図表2. 男女別年代別転出入超過数（マイナスは転出超）



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」2019年から作成

転出超過先については、図表3に示すように、東京都、大阪府を中心とした大都市である。

図表3. 広島県から他地域への都道府県別・年齢別の転出超過人数（人）

順位	15～19歳		20～24歳		25～29歳	
1	東京都	300	東京都	1,396	東京都	511
2	大阪府	202	大阪府	711	大阪府	195
3	神奈川県	94	神奈川県	296	神奈川県	133
4	京都府	72	千葉県	197	兵庫県	86
5	千葉県	61	兵庫県	169	千葉県	62

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」2019年から作成

広島県の人口の社会動態（転出・転入）は、大学卒業・就職時における大都市への転出により転出超過となっており、その傾向は男性より女性に強くみられる。こうした傾向は、2015年以降も改善されず、むしろ強まっている。以下では、広島県的女子大生がなぜ、大都市に転出していくのかを分析していく。

### 3. アンケート調査結果

#### (1) アンケート対象者の属性情報

広島県的女子大生が卒業時に大都市に転出する要因を分析するため、広島県に所在する本学的女子大生を対象にアンケート調査を実施した。アンケート回収数は161人。現在地（現住所）は、ほとんどの学生が広島県内であるが、出身地は、広島県内が100人（62.1%）、広島県外（島根県、山口県、愛媛県など）が61名（37.9%）となっている。

図表4. アンケート回答者の属性情報 （ ）内は構成比

学年	回答数	現在地	回答数	出身地	回答数
1年	41 (25.5%)	広島県内	158 (98.1%)	広島県内	100 (62.1%)
2年	48 (29.8%)	広島県外	3 (1.9%)	広島県外	61 (37.9%)
3年	70 (43.5%)	合計	161	合計	161
4年	2 (1.2%)				
合計	161				

アンケート実施時期 2019年12月2日、10日、19日。無記名・任意提出

アンケート配布数175枚。回収数161枚。回収率92%。

経済学の講義を履修し、就職先が未定の学生が対象。

## (2) 就職希望地とその理由

現時点で希望する卒業後の就職希望地としては、広島県内が78名（48.4%）、広島県外が78名（48.4%）、両方を希望する学生が5名（3.1%）となった。今回の回答者161名のうち、広島県外から入学してきた者は61名だが、それを上回る78名が県外への就職を希望している。

県内・県外の選択理由（複数回答）については、広島県内への就職を希望している学生の7割近くが「広島県から離れる必要性を感じない」としている。一方、広島県外への就職を希望している学生は、県内の就職先に不満、都市の魅力に不満、個人の事情などの理由を挙げている。

まず、「就職したい企業が県内にないから」16人（19.3%）、「就職したい業種や職種が県内にないから」14人（16.9%）、「広島県内より賃金などの待遇が良いから」6人（7.2%）は、県内の就職先に不満ということだと思われる。このうち「就職したい業種や職種が県内にないから」と回答した学生に、どのような業種を希望するか聞いたところ、「放送・出版」「IT・情報通信」「宿泊（ホテル・旅館）」「教育」などの回答が多かった。

図表5. 卒業後の就職希望地（複数回答）

希望地	人数	構成比
広島県内	78	48.4%
広島県外	78	48.4%
大阪圏	25	15.5%
東京圏	20	12.4%
福岡県	12	7.5%
海外	7	4.3%
その他（注）	35	21.7%
両方	5	3.1%
合計	161	100.0%

（注）鳥根県などの県外出身者で地元に戻ることを希望している学生が多い。

図表6. 広島県内への就職を希望した理由（複数回答）

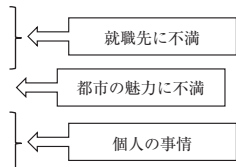
項目	人数	割合（注）
広島県から離れる必要性を感じない	56	67.5%
友達や知り合いの近くに居たいから	22	26.5%
家族と同居するため	15	18.1%
就職したい企業が県内にある	14	16.9%
その他	5	6.0%

注. 割合は広島県内78名+両方5名の合計83名に対する割合

図表7. 広島県外への就職を希望した理由（複数回答）

項目	人数	割合（注）
就職したい企業が県内にないから	16	19.3%
就職したい業種や職種が県内にないから	14	16.9%
広島県内より賃金などの待遇が良いから	6	7.2%
都会に住みたいから	24	28.9%
親元から離れてみたいから	15	18.1%
家族と同居するため	15	18.1%
地元に戻るため	20	24.1%
その他	13	15.7%

注. 割合は広島県内78名および両方5名の合計83名に対する割合



図表 8. 「就職したい業種や職種が県内にないから」と回答した人が希望する業種や職種

人数	業 種
10人	放送・出版
6人	IT・情報通信
5人	宿泊（ホテル・旅館）, 教育
3人	運輸業
1人	金融, 外食, 流通, 建設・不動産, 製造, プライダグ, 旅行, 芸能, 公務員

次に、「都会に住みたいから」という回答は24人（28.9%）と1項目としては最も多かった。この学生24人が「広島に不足しているところは何か」（複数回答）として挙げたのは、「テーマパーク・遊園地」14人、「ライブ公演・ドーム」12人、「交通機関」7人などとなった。

さらに、全回答者を対象に、「広島に魅力を感じるころは何か」「広島に不足しているところは何か」を質問した。記述式の回答（複数回答）のため、記述された内容から、筆者が「食」「街の大きさ」「スポーツ」「世界遺産」「アウトレット・商業施設」「交通機関」「教育機関」「テーマパーク・遊園地」「ライブ公演・ドーム」「その他」の10項目に分類し集計した。そして、各項目ごとに、「広島に魅力を感じるころ」とした人数から「広島に不足しているところ」とした人数を差し引いた人数を「差」として算出した。例えば、広島の「食」については、魅力を感じる学生が46人、不足していると感じる学生が6人となっているため、その差は40となった。プラスが大きい項目は広島の魅力、マイナスが大きい項目は広島に不足している項目と考えられる。

集計結果としては、図表9のとおり、「食」「街の大きさ」「スポーツ」「自然」「世界遺産」「商業施設」など多くの項目がプラスとなったが、「テーマパーク・遊園地」「ライブ公演・ドーム」の2項目は大幅なマイナスとなった。広島の女子大生が、広島に不足していると感じているものは、この2項目に集中している。

図表 9. 広島県に魅力を感じる項目と不足している項目（複数回答数）

	食	街の大き さがちよ うど良い	スポーツ	自然	世界遺産	商業 施設
広島に魅力を感じるころ (A)	46	37	34	32	21	31
広島に不足しているところ (B)	6	0	1	8	0	25
差 (A-B)	40	37	33	24	21	6

	交通 機関	教育 施設	テーマ パーク・ 遊園地	ライブ公演・ ドーム	その他 (ホテル・デー トスポットなど)	合計
広島に魅力を感じるところ (A)	39	2	0	13	3	258
広島に不足しているところ (B)	39	2	94	92	8	275
差 (A-B)	0	0	▲94	▲79	▲5	

注. 本項目は記述式での回答を筆者が分類したものである。

最後に、「親元から離れてみたいから」15人 (18.1%)、「家族と同居するため」15人 (18.1%)「地元に戻るため」20人 (24.1%) との回答もあったが、これらは個人の事情なので、ここでの分析対象とはしていない。

### (3) 女子大生の旅行の特徴

広島には「テーマパーク・遊園地」と「ライブ公演・ドーム」が不足しているとの結果になったが、そうした不足感は女子大生の旅行行動にも影響しているのではないかと考え、アンケート調査では、旅行についても質問している。161人の学生が最近1年間に県外へ旅行(帰省、仕事、研修などは含まない)した回数は合計503回、一人平均年3.1回となった。旅行先は、大阪府・京都府・兵庫県が192回 (38.2%)、東京都・神奈川県・千葉県が99回 (19.7%)、福岡県76回 (15.1%) となっており、この3地域で367回 (73.0%) を占めている。旅行目的としては、ライブ公演が最も多く215回 (42.7%) と4割以上を占め、観光192回 (38.2%)、テーマパーク42回 (8.3%)、スポーツ14回 (2.8%) の順となった。旅行日程は1泊2日が210回 (41.7%) と最も多く、2泊3日が147回 (29.2%)、日帰り93回 (18.5%) と比較的短期のものが多く。短期が多いのは、ライブなど旅行目的がはっきりしているからと思われる。

図表10. 県外の旅行先

訪問先	回数
大阪府・京都府・兵庫県	192
東京都・神奈川県・千葉県	99
福岡県	76
国内その他	129
海外	7
合計	503

図表11. 旅行目的

旅行目的	回数
ライブ	215
観光	192
テーマパーク	42
スポーツ	14
その他	40
合計	503

図表12. 旅行日程

日程	回数
日帰り	93
1泊2日	210
2泊3日	147
3泊4日	34
4泊5日以上	19
合計	503

旅行先で支出した金額は503回の旅行合計で1,211万円、1回あたり2.4万円である。

ただし、この金額は旅行先での支出額に限定しており、交通費を含んでいない。仮に、交通費を含めると、総支出額は大きく増加することになる。

#### 4. ま と め

広島県の若者は、大学卒業時に大都市に転出する者が多く、その傾向は男子よりも女子に強い。その要因分析を行うために、本学の女子大生に、アンケート調査（質問紙調査）を行った。

アンケート調査結果によれば、本学の学生の半分が広島県外への就職を希望している。その理由としては、「就職したい業種・職種・企業が県内がない」（企業の問題）、「都会に住みたい」（街の問題）、「実家に帰る」（個人の問題）などが挙げられた。

「就職したい業種が県内がない」と答えた学生が希望している業種としては、「IT・情報通信業」「放送・出版」などが多かった。広島県は、有効求人倍率が高く全国有数の人手不足県となっていることから、求人数が足りないということはない。求人質の問題だと考えられる。広島県の産業別の就業構造においてウエイトの高い業種は、図表13に示すように、製造業、医療・福祉、卸小売業である。特に製造業が蓄積している。一方、広島県でウエイトの低い業種は、情報通信業、農業・林業、宿泊・飲食サービス業、学術研究・専門・技術サービス業、金融・保険業である。いわゆる都市型産業が少ない。こうした産業構造上の特徴が、就職したい企業や業種が見つからないとの回答につながっている可能性がある。

図表13. 広島県の業種別就業人口構成比の特徴 (%)

		広島 (a)	全国 (b)	広島-全国 (a - b)
全国より 構成比が 高い ↑ ↓ 低い	製造業	18.36	16.22	2.14
	医療、福祉	13.33	11.92	1.40
	卸売業、小売業	16.18	15.28	0.90
	公務（他に分類されるものを除く）	3.84	3.44	0.40
	運輸業、郵便業	5.34	5.17	0.17
	<略>			
	金融業、保険業	2.06	2.42	-0.36
	学術研究、専門・技術サービス業	2.88	3.26	-0.38
	宿泊業、飲食サービス業	5.13	5.51	-0.38
	農業、林業	2.83	3.51	-0.68
情報通信業	1.76	2.85	-1.09	

出典：国勢調査2015年から筆者作成

「都会に住みたいから」という学生も多かった。全学生を対象に、広島に魅力を感じるものと不足しているものを質問したところ、「自然」「食」「街の大きさ」「商業施設」など多くの項目で魅力を感じるとした学生が上回ったが、「ライブ公演・ドーム」と「テーマパーク・遊園地」には強い不足感が示された。女子大生が、広島に欲しいと思っているものはこの2項目に集中している。

旅行について質問したところ、1年間に平均3.1回、県外へ旅行している。旅行目的では、全体の4割以上を「ライブ公演」が占め、行き先は、東京圏（東京・神奈川・千葉）、大阪圏（大阪・京都・兵庫）、福岡県で全体の7割以上を占めている。県内に不足している「ライブ公演・ドーム」を求め、大都市に頻繁に旅行している。

広島市では、新しいサッカースタジアムの建設を検討している<sup>2)</sup>。広島市が2019年10月にホームページで行ったアンケート調査において、「新スタジアムにおいてサッカー以外で利用したいイベント」を聞いたところ、最も多かったのが「コンサート・音楽フェス」となっている。今回のアンケート調査結果と符合している。

図表14. サッカー以外で利用したいイベント（複数回答可）N=9,517人

選択肢	回答数	割合
コンサート・音楽フェス	7,003	73.6%
パブリックビューイング	6,313	66.3%
サッカー以外のスポーツ大会	4,241	44.6%
ピッチを使ったイベント	3,545	37.2%

出典：広島県（2019年）「新しいサッカースタジアム・公園に関するアンケート集計結果」

広島県は製造業や卸小売業を中心に発展してきたが、サービス業や情報産業のウエイトは高くない。広島市中心部のビルの空室率は2%台にまで低下<sup>3)</sup>している。シティホテルの稼働率は全国で2番目に高く<sup>4)</sup>予約が取りにくくなっている。全国のライブ・コンサートの入場者数はここ10年で2倍以上に増加しているが、広島では大規模ライブ会場が足りないために、開催を見送るケースが少なくないことが業界関係者から指摘されている<sup>5)</sup>。

こうした中、広島市中心部は2018年10月、都市再生緊急整備地域に指定され再開発の機運が高まっている。これからの広島は、どのような街を目指していくべきなのか。今回のアンケート調査結果は、大都市への若者の流出を抑制するためには、新しいトレンドに対応した産業振興や施設整備が必要なことを示している。

## 謝 辞

本研究に協力してくれた学生の皆様に感謝の意を表する。



## 調査票用紙

## 文教生の住みたい街に関するアンケート調査

広島県では、20代前半の若者が就職を機に東京や大阪に転出する人が少なくありません。なぜ、県外に転出するのか、広島には何が足りないのか、どのような対策が必要なのか、皆さんの考えを教えてください。

属性確認（個人名の記入欄はありません）

- 問1 性別 男性 女性
- 問2 学科 初等教育学科 中等教育学科（1年生のみ） 人間福祉学科  
心理学科 人間栄養学科 グローバルコミュニケーション学科
- 問3 学年 1年次 2年次 3年次 4年次 院生
- 問4 出身地（実家） 広島県・広島市 広島県・広島市以外 広島県以外
- 問5 居住地（現住所） 広島県・広島市 広島県・広島市以外 広島県以外

卒業後の就職希望地

- 問6 広島県内 ⇒ 問7へ  
東京圏 大阪圏 福岡県 海外 その他（ ） ⇒ 問8へ

- 問7 問6で広島県内への就職を希望した人に聞きます。県内就職を希望する理由を下記から選んでください（複数回答可）
- 就職したい企業が県内にある 広島県から離れるの必要性を感じない
- 友達や知り合いの近くに居たいから 家族と同居するため
- その他（ ）

- 問8 問6で広島県外への就職を希望した人に聞きます。県外就職を希望する理由を下記から選んでください（複数回答可）
- 就職したい業種や職種が県内にないから ⇒ 問9へ
- 就職したい企業が県内にないから 広島県内より賃金などの待遇が良いから
- 都会に住みたいから 親元から離れてみたいから
- 家族と同居するため その他（ ）

問9 問8で「就職したい業種や職種が県内にないから」を選んだ人に聞きます。  
 どのような業種を希望しているか、以下から選んでください。  
製造業 建設・不動産 運輸業 流通 金融業 IT・情報通信業  
外食 宿泊（ホテル・旅館） 放送・出版 研究職 教育 公務員  
その他（ ） 注. 公立学校の教員は教育。

問10 全ての人に聞きます。広島に魅力を感じるところは何ですか  
 (例：自然，食，地下鉄，教育施設，アウトレット，ライブ，テーマパーク，スポーツなど)

--

問11 全ての人に聞きます。広島に不足しているものは何ですか  
 (例：自然，食，地下鉄，教育施設，アウトレット，ライブ，テーマパーク，スポーツなど)

--

問12 最近1年間の県外への旅行（ライブ・スポーツ・観光など）についてお聞きします

	(例)		
・訪問した街	福岡市		
・旅行の目的	ライブ		
・行程	○泊○日		
・現地で使った金額（旅費は除く）	2.5万円		

クレジットによる支出も含む。海外も対象先に含む。

#### 引用文献・参考文献

- 1) 広島県（2015）「ひろしま未来チャレンジビジョン（改訂版）」人口ビジョン P 18～ P 25 (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/challenge/> 2020年1月6日閲覧)
- 2) 松原淳一（2019）「広島の経済」P155～ P157（南々社）
- 3) CBRE（2019）「ジャパンオフィスマーケットビュー 2019年第3四半期」（<https://www.cbre.co.jp/ja-jp/research-reports/office-reports> 2020年1月6日閲覧）
- 4) 観光庁（2019）「宿泊旅行統計調査2018年」（<http://www.mlit.go.jp/kankochou/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html> 2020年1月6日閲覧）
- 5) 松原淳一（2019）「広島の経済」P 139～P 146（南々社）